

■コメント

1. 風しん

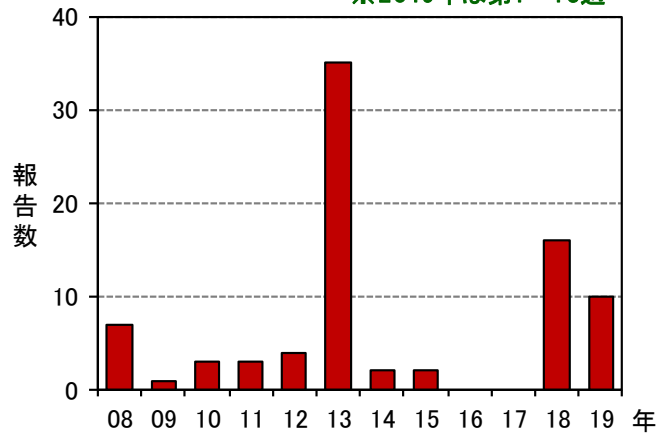
3件の報告があり、今年の累計は10件となりました。
 風しんウイルスに感染すると、約2～3週間の潜伏期間の後、発熱、発しん、リンパ節の腫れなどの症状が現れます。また、妊娠初期の女性が感染すると、赤ちゃんが先天性風しん症候群(難聴、白内障、心疾患等)を発症する可能性があるため、特に注意が必要です。
 (次頁参照)

2. 梅毒

2件の報告があり、今年の累計は19件となりました。
 梅毒は、早期発見・早期治療が大切です。梅毒に感染したおそれのある方は、早めに医療機関を受診しましょう。

風しんの年間報告数の推移

※2019年は第1～13週



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注) 過去5年間	発生記号
フィリ	インフルエンザ	59	1.64	4.76	◀
小児科	咽頭結膜熱	2	0.09	0.29	◀
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	59	2.57	2.18	◀
	感染性胃腸炎	117	5.09	8.16	◀
	水痘	13	0.57	0.38	◀
	手足口病	4	0.17	0.22	◀
	伝染性紅斑	6	0.26	0.16	◀
	突発性発しん	10	0.43	0.29	◀
	ヘルパンギーナ	-	-	0.06	◀
定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注) 過去5年間	発生記号
小児科	流行性耳下腺炎	3	0.13	0.72	◀
眼科	RSウイルス感染症	14	0.61	0.19	◀
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	◀
眼科	流行性角結膜炎	8	1.00	0.43	◀
基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	◀
	無菌性髄膜炎	-	-	-	◀
	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03	◀
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	◀
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	4	0.57	1.31	◀

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	46	男性(70歳代)・2人、女性(70歳代)・2人、男性(80歳代)・1人
4	E型肝炎	1	1	男性(70歳代)
4	レジオネラ症	1	5	男性(70歳代)
5	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	女性(40歳代)
5	梅毒	2	19	女性(20歳代)、女性(40歳代)
5	百日咳	2	15	女性(20歳代)、男性(30歳代)
5	風しん	3	10	男性(40歳代)・2人、男性(50歳代)・1人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎	(感染性 胃腸炎 (ロタウ イルス)
報告数	広島市	第9週 241	5	79	183	9	-	16	4	1	9	19	-	2	-	-	1	-	1
		第10週 212	2	64	219	4	-	7	7	-	2	6	-	3	-	-	-	-	2
		第11週 123	1	57	145	6	-	8	6	-	3	12	-	9	-	-	-	-	2
		第12週 105	5	48	143	2	1	7	11	-	4	18	-	2	-	-	-	-	1
		第13週 59	2	59	117	13	4	6	10	-	3	14	-	8	-	-	-	-	4
定点 当たり	広島市	第9週 6.51	0.21	3.29	7.63	0.38	-	0.67	0.17	0.04	0.38	0.79	-	0.25	-	-	0.14	-	0.14
		第10週 5.73	0.08	2.67	9.13	0.17	-	0.29	0.29	-	0.08	0.25	-	0.38	-	-	-	-	0.29
		第11週 3.32	0.04	2.38	6.04	0.25	-	0.33	0.25	-	0.13	0.50	-	1.13	-	-	-	-	0.29
		第12週 2.92	0.22	2.09	6.22	0.09	0.04	0.30	0.48	-	0.17	0.78	-	0.25	-	-	-	-	0.14
		第13週 1.64	0.09	2.57	5.09	0.57	0.17	0.26	0.43	-	0.13	0.61	-	1.00	-	-	-	-	0.57
	全国	第11週 2.92	0.37	2.87	6.04	0.32	0.16	0.58	0.39	0.03	0.10	0.49	-	0.49	0.02	0.03	0.14	0.01	0.40
		第12週 2.49	0.34	2.46	5.51	0.36	0.15	0.56	0.37	0.02	0.09	0.50	0.01	0.53	0.01	0.02	0.09	-	0.38

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.0) 気管支炎 嘔吐下痢 腹痛	5	男	2019/02/15	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(37.8) 咽頭炎 頭痛 関節痛	46	男	2019/02/19	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(39.7)	8	女	2019/02/19	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(38.1) 鼻炎	9	男	2019/02/20	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 紅斑 咽頭炎	2	男	2019/02/21	咽頭拭い液	ヒコロウイルスNL63

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

★風しんの予防について ～先天性風しん症候群を防ぐために～

風しんはワクチン接種で予防可能な感染症ですが、妊娠中の女性は接種できません。妊婦への感染を防止するため、過去に風しんにかかったことがない方で、予防接種を受けていない方は予防接種を受けましょう。また、麻しん風しん混合ワクチンの定期予防接種(無料)の1期は1歳になったら、2期は小学校入学の前年の4月1日から受けることができますので、対象の方は早めに接種しましょう。

広島市では、主に妊娠を希望する女性に対して、無料の風しん抗体検査を実施しています。検査の結果、抗体価が低いことが判明した場合は、予防接種を受けましょう。

【参考】

・風しんについて(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/

・風しんに要注意!(健康推進課)

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1338441470548/index.html>

・広島市では無料の風しん抗体検査を行っています。【先天性風しん症候群を防ぐために!】(健康推進課)

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1395648504256/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2019年第13週(3月25日～3月31日)